いかわ

議会だより

No.168
2026.11.1



こどもの息吹を感じる

三浦さん御一家（小泉町内）

定住の決め手は？（最終ページに関連記事）

9月議会

（会期・9月7日～16日）

第３回定例会・常任委員会 …… 2～3
決算審査特別委員会・総括質疑 …… 4～5
臨時会・全員協議会など …… 6
一般質問（６議員登壇） …… 7～13
なぜここに？インタビュー・他 …… 14

第３回　会期：９月７日～16日

定例会（９月議会）

９月定例会には、報告４件、承認１件、条例３件、各会計補正予算８件、工事契約関係２件、決算認定９件、人事案件１件、その他４件が上程され、すべて可決、認定された。

日本国花苑内に建設中の宿泊棟は11月中に完成。来年３月までプレオープンして週末のみ営業。４月から本格稼働。

工事請負契約は、旧井川小学校の低学年棟・食堂棟解体工事１億2628万円（工期は来年３月末まで）、井川義務教育学校体育館への空調設備設置工事 9273万円（工期は来年３月26日まで）。

令和７年度 一般会計決算　賛成多数で認定

歳入総額	49億1302万円
歳出総額	44億9523万円
差引額	4億1779万円
繰越明許費	5795万円
実質収支額	3億5985万円

※千円以下四捨五入



11月完成が待ちどおしい

〈主な上程議案と結果〉

令和７年度 各会計決算認定	
令和７年度 井川町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
令和７年度 井川町各特別会計・各事業会計決算認定　【８件】	全会一致賛成
条例制定・一部改正	
日本国花苑宿泊施設の設置及び管理に関する条例の制定について	全会一致賛成
井川町特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致賛成
井川町防災会議条例の一部を改正する条例について	全会一致賛成
令和８年度 各会計補正予算	
令和８年度 井川町一般会計補正予算（第５号）について	全会一致賛成
令和８年度 井川町各特別会計・各事業会計補正予算　【５件】	全会一致賛成
人事案件	
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全会一致賛成
その他	
日本国花苑宿泊施設の指定管理者の指定について	全会一致賛成
工事請負契約の締結について（令和８年度 旧井川小学校（低学年棟・食堂棟）解体工事）	全会一致賛成
工事請負契約の締結について（令和８年度 学校施設環境改善交付金事業井川義務教育学校体育館空調設備設置工事）	全会一致賛成

（全会一致賛成または賛成多数で可決・認定・採決、全会一致反対または賛成少数で否決、不認定、不採択）

総務産業 常任委員会

宿泊施設45日間の営業に250万円!!

●委員長　佐々木昌子
●副委員長　石井　茂
●委員　伊藤　毅
　藤田　将五
　浅野　義幸

一般会計補正予算、宿泊施設の設置及び管理に関する条例、宿泊施設の指定管理者の指定など、付託された6件について審議。宿泊施設関連の質問が集中した。

問 **45日間の営業に250万円の管理料を設定しているが積算内容は。**

答 経費を380万円と想定。利用料が135万円入ってくる見込みとして、その差額分にあたる。

問 **経費の内訳は。**

答 リネン代、清掃費、人件費、保険料、通信費、予約システムの管理費などである。

問 **赤字分は町で補填するとのことだが、自社で解消すべきでは。**

答 宿泊施設は町が必要な事業として行うものであり、町が補填する必要があると考える。

問 **利用料金とその設定根拠は。**

答 プレオープン期間中は3万円～4万円を想定。町内在住者には安くするなど検討中である。

同等程度の施設と比較して安価に設定した。

問 **イカワプラス職員に対する研修や教育は行わないのか。**

答 開業当初は料理の提供は行わないし、予約はオンラインで、チェックインやチェックアウトはパスキーで行うため、社員が直接客と会うことはない。電話対応はあり得るので丁寧に行わせる。

問 **一般的な株式会社であれば、長期計画に基づき業務を行うものと思うが。**

答 現段階では、いつまでに長期計画を出すというのは申し上げられない。



安全対策が求められる（こどもセンター）

教育民生 常任委員会

防護柵の効果に期待

こどもセンターに防護柵を設置、合わせて監視カメラも設置するなどの一般会計補正予算、特別会計5件、条例改正1件について審議。

問 **設置場所はどこになるのか。**

答 駐車場側の土手に並行して設置する予定。また、設置の障害となる枝や木は切る想定である。残った木は侵入者視認なども踏まえて設置後に検討する。

問 **防護柵はどのようなものか。**

答 現在こどもセンター敷地内にある他のフェンスと同様のもので高さは2メートル位である。

問 **クマ対策は検討しているか。**

答 クマ対策のほか、園児の敷地内からの抜け出し防止等の観点もあるため当該フェンスとした。

問 **監視カメラについて、モニターの確認は誰が行うのか。**

答 園長と事務職員が主に行う。録画機能もあるため常時記録される。

問 **常時確認するのか。**

答 録画した24時間分の記録を常時確認するのは現実的ではないため、あくまでも有事があった際に確認する。

●委員長　三浦　成利
●副委員長　八柳　喜行
●委員　伊藤　一彦
　伊藤　秀人
　伊藤　俊郎

問題点は

９月９日から16日まで決算審査特別委員会（伊藤毅委員長）を開催。歳入・歳出を厳しくチェックした結果、令和７年度一般会計は賛成多数で、特別会計など８件は全会一致で認定すべきものとした。



喜ばれている学習スペース

総務課

問 ふるさと交流センター待合室内の学習スペースの利用状況は。また、利用者からの要望などはあるか。

答 電車の待ち時間に勉強したり、漫画を読んだりしている利用者を確認している。要望等については、設置から現在まで確認されていないが、要望があれば検討していく。

税務会計課

問 固定資産税収入未済が発生している原因は。

答 相続放棄などにより、相続人が特定されないため未済になっている場合がある。

問 相続放棄などにより納税義務者が不明である場合の法的措置は。

答 固定資産の所有者になり得る相続人を捜索し、見つかり次第、納税通知を行うことになる。捜索しても相続人までたどり着かない案件が増えている。

健康福祉課

問 ホームページがリニューアルされ、とても見やすくなった。しかし、ホームページの項目はあるが、中身がないという箇所がいくつか見受けられるが。

答 ご指摘のとおり、項目はあれども表示されないデータがない箇所がある。今後、庁内で更新して情報の充実化に努めていく。

問 普段着ふれあいサロンは全町内で行っているのか。行っていない町内があれば、その理由を把握しているか。

答 14町内が実施している。実施については全町内に案内し働きかけをしている。実施するかどうかは各町内に任せている。

問 帯状疱疹ワクチンの接種対象者と接種人数は。

答 対象は50歳以上。人数は定期接種で１回目33名、２回目27名、任意接種で１回目52名、２回目54名である。一人でも多く接種していただくようPRを継続していく。



求む、消防団員

町民生活課

問 高齢者の安否確認を目的とした牛乳配達について、実際に異変を感じて通報などにつながったケースはあるか。

答 これまで何件かあり、異変があった場合は、地域包括支援センター職員や保健師などが確認に伺っている。

問 空き家の実態について、所有者が施設等に入所し、空き家になった場合の確認方法は。

答 居住していた方が死亡、転居した場合は把握できるが、施設入所については即座に確認ができないため苦慮している。

問 消防団員募集ののぼりは古くなるまで使用するのか、今後更新していくのか。

答 町としては更新しながら周知していきたいが、当補助金が打ち切りになるため一般財源で購入しても良いと考えている。のぼりが使えるうちは使っていく。

決算審査特別委員会

予算執行による成果と

産業課

問 町営住宅の空きが増えているが、改修せずに解体という形で進めていくのか。

答 ジュネスドミール（定住化促進住宅）は町営住宅を撤去して建設したもの。町営住宅の老朽化により他の地区で同じようなことができないか検討している。

問 ドックランの設置回数を増やすことや、常設にするといった考えは。

答 ドックランは非常に好評である。パターゴルフコースを利用していることから、年間を通しての設置は難しい。将来的には常設も検討している。



好評の日本国花苑ドックラン

教育委員会

問 資料館の状況が何年経っても変わっていない。今後の進め方は。

答 整理にあたり目標を定めたが、マンパワーが足りず、進めることができなかった。現在、委員会の中で再度話し合いを行っている。

総括質疑　今後の町政どう推進していくか

伊藤一彦 町長が就任して3期12年。宿泊施設、ふるさと納税、子育て支援など数多い施策の成果に期待をしている。

今後どのような方向性で町政を推進していくか。

町長 誰がやっても頑張らなければならないのは産業振興だ。米に依存してきた農業主体の町から、新しい取り組みにチャレンジする人を応援し、増やす施策の展開が重要と考える。

これまでの取り組みは間違っていないと考えており、続けていってもらいたい。

石井　茂 主要な施策にどう臨んだのか、効果はどうだったのかが全く見えない。成果説明資料を他自治体のものを参考にし内容を変えるべきではないか。

町長 成果説明資料は各自治体で違うものだ。

基本的に全ての事業を決算書・事業別明細で細かく説明していて、足りないものは無いと認識している。

議会から要望があれば検討する。

浅野義幸 3億5700万円の不用額についてどう考えているか。

町長 旧小学校解体事業の入札残、システム関係経費の所要額減、除雪費用の未執行などが大きな部分を占めている。

予算査定で削れる部分があったかもしれない。

三浦成利 資料館にある資料や文化財の整理はどうなっているか。人手不足であれば外部登用も考えるべきではないか。

教育長 専門的知識を持つ人材が不足していて、十分に進捗していない。展示よりも保存・管理に力を入れる方向で考えたい。

伊藤秀人 個人のふるさと納税は伸びたが、企業版ふるさと納税は芳しくなく、企業にあまり響いていない。今後の対応は。

町長 仕事を発注している企業にお願いする構造が正しいかという葛藤があり、7年度はアプローチを少し抑えた。毎年積極的に求めていくことは考えてない。

新しい事業や一緒にやれそうな企業と財源を活用して取り組むことは考えている。

藤田将五 決算審査で遊具の撤去後新設はないとの話だった。人口減少対策や移住定住促進を考えた時、身近に子供が集まる場所があることは大事ではないか。

町長 新設を希望する町内会は別として、利用頻度が少なく不要という町内会とは協議の上で撤去している。

第５回 井川町議会全員協議会

令和８年８月18日（火）

執行部関係

(1) 日本国花苑宿泊棟について

○建築工事　８月末竣工予定
○外溝工事　９月末竣工予定
○プレオープン　11月中を目途　一泊３～４万円
○指定管理者　㈱イカワプラス
○施設の通称名　「いかわさんのべっそう」
○利用料金　10万円を上限
○正式オープン　令和９年４月予定

(2) デマンド型交通実証実験について

○実証実験期間　令和９年１月～３月
○本稼働予定　令和９年４月を予定
○使用車両　10人乗りワゴン車
○運行区間　自宅から拠点間
※拠点（さくら駅・診療所・ゆうゆう・アマノ・湖東病院・国花苑等）
・利用料　無料（予約制）

議会関係

(1) 議会運営について

(2) 町民と議会との意見交換について

(3) 常任委員会所管事務調査について



木漏れ日が優しい宿泊棟



利用が期待されるデマンド交通

令和８年 第２回（７月13日） 井川町議会 臨時会

◎井川町一般会計補正予算（第３号）

２２１０万円を追加し、40億８４００万円とする。

主な内容

追加となる主な事業費等

●重点支援地方交付金事業（水道基本料金３ヵ月無料）　９００万円
●みのりの未来農業継続補助金（農機具等購入補助）　１０００万円
●ふるさとづくり基金繰入金（みのりの未来農業継続補助金充当）　５００万円

追加となる主な収入

●重点支援地方交付金　４４２万円
●前年度繰越金　１２５２万円

全会一致可決

◎井川町水道事業会計補正予算（第１号）

●一般会計補正予算に伴う収益項目の変更　９００万円

全会一致可決

秋田県町村議会議員研修会

令和８年７月30日（木）　秋田県市町村会館

「適正な議員定数の決定手法を考える」
講師：㈱廣瀬行政研究所　廣瀬　和彦

「日本の米政策について」
講師：食料安保推進財団理事長　鈴木　宣弘

人事案件

教育委員会委員任命への同意

再　任

佐藤　聡子（小泉町内）

一般質問

6人の議員が

町の考えを問う

定例会の一般質問が9月7日に行われ、6人が質問しました。

P8	7番　藤田　将五　議員（一問一答方式） 1 持続可能な井川町の農業を実現するための今後の農業支援と井川町農業の将来像は
P9	4番　伊藤　毅　議員（一問一答方式） 1 第３期井川町総合戦略について 2 令和８年度井川町の教育・社会教育について
P10	10番　浅野　義幸　議員（一問一答方式） 1 ふるさと納税返礼品等の今後について
P11	5番　伊藤　秀人　議員（一問一答方式） 1 令和８年度のふるさと納税について 2 町長３期目の所信表明事項と３期目現時点での施策・事業の実状について
P12	1番　伊藤　一彦　議員（一問一答方式） 1 子育て支援策について 2 高齢者支援策について 3 町の老人クラブ数と会員数の急激な減少について
P13	2番　八柳　喜行　議員（一問一答方式） 1 老朽化した国花苑の「総合案内掲示板」について 2 農村環境改善センターの玄関部の修繕工事について

※質問の詳細は議事録で見ることができます。議会事務局にお問い合わせ下さい。

◆一般質問のルールについて◆

発言時間は１人30分以内。質問方式は、一括質問方式と一問一答方式があります。

一括質問方式とは

議員が通告した質問項目のすべてを一括して質問し、その後町長などが一括して答弁を行う方式。答弁は３回まで要求できる。

一問一答方式とは

議員が通告書に記載した質問項目ごとに質問・答弁を行う質問方式。１つの項目について質問が完結してから次の項目に移る。

一般質問

井川町農業の将来像は

次世代へ引き継いでいける農業へ



藤田（ふじた）　将五（しょうご）　議員

藤田　**農家、農業を取り巻く環境は、燃料や肥料などの農業資材の価格高騰、米価の下落など年々大きく変化をしている。現在、町で行っている農家への支援策は、農業を経営していく上で十分であると考えるか。**

町長　町としてはこれまで、カメムシ追加防除への薬剤費助成、農業保険加入制度加入者への保険料助成、そして昨年度からは、みのりの未来農業継続補助金を創設し、農業機械の導入に対し助成を行っている。その他、転作作物への出荷奨励金や、航空防除に対する事業補助金増額と、他の自治体と比較しても農業者支援は、かなり手厚く行っていると認識している。

藤田　**全国的に米余りが騒がれている。イカワプラスにおいても米余りが発生する可能性がある。町として、イカワプラスが米の在庫を抱えた場合、何らかの対応をとるのか。**

町長　町としては口を挟む立場ではない。そこは事業者の責任において在庫管理を行っていただくことだ。しかし、今年の米相場の状況から、資金繰りについては相談する余地はある。町として、ふるさと納税のなお一層のＰＲに努めていかなければならないと考える。



価格高騰が続く農業資材（肥料）

藤田　**発表された米概算金は、生産コストを下回っている状態だ。イカワプラスでの米買い取り価格にも影響を与えることと思う。農家所得向上の観点から、今年の米価の動向をどう捉えているか。**

町長　本来は生産コストを考慮した価格設定になるのが望ましいことだが、これは農家サイドの再生産可能な生産ラインということと、消費者サイドから見た時、この価格では高いという議論がある。今後、どういうふうに整理されていくのか注視していきたい。



農家は米価の乱高下に翻弄

藤田　**地域計画策定後、これまでに農地の集積、集約化や担い手への農地移行の進捗や成果はどの程度あったか。**

産業課長　担い手の集積率は令和３年度以降、毎年着実に増加している。令和７年度は69・８％で、地域計画を定めた令和６年度と比較して７・２％の上昇となっている。これは農業者の高齢化や担い手不足に伴い、農業法人や大規模農家等への集積と、新たな農業法人の設立等が要因のひとつと考える。

藤田　**10年後の町の農業をどのような姿にしたいと考えているか。**

町長　激変する農業を取り巻く環境の中、将来を見通すことは困難な状況だ。町として、大規模化、省力化を進める一方で、小規模農家の農地、環境保全などをしっかり守り、10年後も今ある町の農地を維持していくべきと考えている。将来にわたって持続可能な農業を次世代に引き継いでいけるよう鋭意努力していく。



伊藤（いとう）　毅（たけし）　議員

一般質問

総合戦略の検証は頻度上げるべき

検証委員会の前に内部で随時検証

伊藤毅　**パブリックコメントの募集で町民からの意見は3名にとどまっているが、もっと意見を募る工夫ができなかったか。**

総務課統括主幹　スマホ向けにウェブによる回答を新たに用意した。2名がウェブを通じて寄せられた。

今後、広報紙、告知放送、SNSなど重層的な周知方法や、募集期間を延長したりする。

伊藤毅　**第二期までの成功事例の分析結果は。**

総務課統括主幹　効果的だった子育て支援事業の充実では、保育料及び給食費の無償化、高校生通学定期代の補助など町独自の経済的支援を充実させた。みなくるでは、多様なイベントを継続した結果、利用者の満足度が上がり、町内外からの集客となった。

伊藤毅　**目標未達成について何が問題だったのか。それはなぜだったのか。**

総務課統括主幹　公共交通の創設、新規就農者数、婚姻届数などが未達成。新規就農者数は、支援制度や法人化のメリットが届いていなかった。婚姻届出数は、対象年齢層自体の減少、結婚に対する価値観の変化が要因。

伊藤毅　**成功事例のさらなる推進、目標未達成事例の対策について、第三期総合戦略への展開は。**

総務課統括主幹　二期計画の検証評価を前提とした展開。空き家バンクを通じた利活用件数、公共交通の創設は、デマンド交通開設を実施事業とし、利用者数を設定した。

伊藤毅　**検証と妥当性の確認を定期的に行って、修正、見直しすることが重要。どういった頻度で、どう行うか。**

総務課統括主幹　5年間の取り組みに対する年度毎に検証する。改善を図るためのPDCAサイクルを運用する。

伊藤毅　**4ヵ月毎に状態を検証し、妥当性を確認するなど舵取りの見直しをする事が必要。**

町長　検証委員会は年度1回。検証委員会の前に内部で確認・検証し次の施策展開を行っている。総合戦略の数値目標を高く設定したが、撤退をすることも戦略の1つとして掲げなければいけない。



町内外からの利用者で賑わう「みなくる」

教育・社会教育の活動内容を明確に

毎月の教育委員会で活動内容を検証

伊藤毅　**井川町の教育・社会教育について取り組みの活動を明確にすべき。**

教育長　毎月定例の教育委員会を開催し、事業の進捗について教育委員に説明し、意見を聞き修正し進めている。広報、ホームページなどで分かるようにする。

一般質問

ふるさと納税返礼品などの今後は

実績として出てくるのはこれから



あさの　よしゆき
浅野　義幸
議員

浅野　**令和7年度産米の在庫数、また在庫があるとすれば今後の活用方法は。**

町長　町で直接農家から米を購入することはない。イカワプラスを含め返礼品提供事業者がそこで梱包し製品化したもので寄附分の代金を事業者に支払う事になる。町単独で在庫を持つ考えでなく、各事業者が在庫を持つことになるので、町として答弁する立場にない。

浅野　**令和8年度産米も前年同様数の買取をするのか。**

町長　令和7年度産米と同様にふるさと納税の返礼品提供事業者が商品を作るため農家から仕入れすることになる。町で在庫を持つ訳でないので、どの程度購入するかは現時点で答弁する立場にない。



今年度も返礼品の米に期待

浅野　**現時点での返礼品別の寄附額は。**

総務課統括主幹　8月末現在で、米の寄附3508万円。比内地鶏関係商品が66万円。野菜・フルーツ類46万円。その他、お酒・アイス加工品等合わせて43万円。返礼品なしの寄附で120万円いただいている。

浅野　**制度改正で10月から地場産品基準の厳格化により、今出している返礼品は、ほぼ出せなくなる状況だが。その対応はどう考えるか。**

総務課統括主幹　区域内で生じた付加価値の算定方法が明確化され、返礼品を取り扱う事業者による証明や自治体による確認、公表が必要となる。職員が個別に事業者を訪問し、返礼品の原材料や製造、加工工程、区域内で生じる付加価値等を確認し、改正内容の詳細や証明に必要な事項の説明をしている。引き続き丁寧に説明して本町の魅力を生かした返礼品の充実や新たな開発に取り組んでいく。

浅野　**ゆうゆう内の加工所での加工品の費用対効果は。**

町長　投資分とすれば厨房改修工事及び特産品開発に関するコンサルティング業務に総額550万円。ふるさと納税返礼品のみを目的に回収するということは実績としては、かなり厳しい。単年度で収益を見込むのでなく、ふるさと納税を活用し基幹産業の農業産品をどうつなげていくかである。

　商品開発は、金額帯でどの様なものが作れるか吟味をし試作を重ねている。返礼品として提供を決めても保健所の検査も入れて商品掲載まで半年を要する。少しずつ認知されて商品も波及させていくので実績として出てくるのはこれからと考える。



加工品が返礼品の主力となる事を願う

一般質問



伊藤（いとう）　秀人（しゅうと）　議員

どうなるふるさと納税

当初予算を目指す

伊藤秀 **今年度（令和８年度）のふるさと納税の寄附獲得はどれほどと予測しているか。**

町長 見通しは当初予算で見込んだ通り1億5千万円を目指して頑張っていく。

町の豊かな自然の中で生産者がこだわりを持って米作りをしている。また「秋田県産あきたこまち」が「他県産あきたこまち」と違いがあるところを、ふるさと納税の中で訴え、年度末まで寄附獲得に向けて鋭意努力していく。

伊藤秀 **ふるさと納税の返礼品が米頼みでは米価、作柄に左右され寄附獲得額が安定しない。米以外のふるさと納税の返礼品の開発および確保についての考えは。**

町長 昨年からゆうゆうの厨房を加工所に改修して、イカワプラスに貸し出し特産品、返礼品の開発に取り組んでいる。昨年は諸事情で開発した加工品はふるさと納税の返礼品として提供できる期間が短かった。

イカワプラスに特産品、返礼品の開発事業は委託しているが、返礼品の提供事業者だけでは無く、町全体としてふるさと納税の獲得に向けて鋭意努力していく。



開発の進む加工品



3期目はどうだった

所信表明事項は取り組んだ

伊藤秀 **3期目の所信表明事項と、3期目のこれまでの施策・事業の実績に大きな差異は生じていないか。**

町長 3期目の所信表明で冒頭に「まちづくりは、人づくりで長い取り組みが必要と改めて痛感している」その上で3点、①住まい、結婚、出産、育児までの若者支援、②未来を担う子どもたちの育成、③地域を支える産業基盤の底上げを重点に取り組むと述べた。関連する施策・事業はすべて効果が出ているかは別に、ほぼ取り組んだと考えている。

伊藤秀 **3期目の所信表明事項はほとんど着手しているが、任期5ヵ月とその先を見据えた上で、足りなかったものはあるか。**

町長 総合戦略から鑑みると、デマンド型交通の実証実験が想定より遅れた点、農業振興の中で米以外の新たな作物。米依存からの脱却という点から政策的に転作における集荷奨励金以外にも新しい取り組みが考えれたのではないかなど、未着手ではないが総合戦略を踏まえるとまだまだやれることはあったと感じている。



3期目の所信表明をする町長

一般質問

これまでの子育て支援策は

故郷に対する思いを育む支援策を実施



元気な子供たち



伊藤（いとう）　一彦（かずひこ）　議員

伊藤　町長が就任以来、子育て支援策については、他市町村に無いものや先んじて対応してきた施策が数多くある。これまでの子育て支援策に対する総括的な町長の見解は。

町長　子育て支援策に取り組むため、一番最初に自主財源として2億円の基金を積ませて頂いた。子育て支援は短期的に効果が出るものでは無いと考えている。長期的に町がやってきたことに気づき、故郷に対する思いを持って貰えれば一番良いという思いである。

　引き続き限られた財源の中で、皆様の理解を得ながら進めていく。

これまでの高齢者施策は

サポートは出来ている

伊藤　子育て支援策に対し高齢者支援策は、特に目新しい施策が無いように感じられ、少し物足りなさを感じる。これまでの高齢者支援策に対する見解は。

町長　子育て支援策に対して、高齢者支援策は大きくアプローチが異なるため独自的なアプローチ、施策は作りづらい面がある。しかしながら、金銭的支援策は少ないが、色々なメニューがあり、支援を受けられる体制の構築という意味では、しっかりとサポートが出来ていると感じている。



まだまだ～

老人クラブ数、会員数の減少は

非常に危惧している

伊藤　高齢者の皆さんの活躍の場となる老人クラブの衰退は、町の活力の衰退に繋がる。このことについて、どのように受け止めているのか。

町長　老人クラブ数とその会員数の減少は、非常に危惧している。しかしながら、行政が介入することは簡単にいかないと考えている。

　これまで、必要に応じて様々な事業で行政、社会福祉協議会等が一緒になって活躍の場をサポートしてきた経緯もある。

　老人クラブに限らず、元気な高齢者が活躍する機会や場所を確保するように努めていく。



明るく行きましょ～

一般質問



やつやなぎ　よしゆき
八柳　喜行
議員

国花苑の総合案内表示板は
撤去する方針

八柳　老朽化した日本国花苑の総合案内表示板については、令和6年9月議会でも改修等の必要性を質問したが、あれから2年が経過しても何の手立ても無く劣化が進んでいる。

新しい案内板が必要と考えるが、町長の考えは。

町長　日本国花苑の管理上は好ましい状況にはないことは、これまでの答弁のとおりである。

現在、旧小学校の解体、宿泊棟の建設等の完成が間近であり、案内板の更新としては、このタイミングだと考えていた。

方針としては、新年度予算で現在の総合案内板を撤去することを考えている。



老朽化により撤去方針の総合案内板

八柳　今後、大型の案内板は必要ないという考えか。

町長　大型の案内板を必要としないということではなく、現状として大型の案内板の劣化が進んでいることから撤去するものである。

今後はパンフレットを活用したり、二次元コードからスマホを使って来苑者に情報を提供することを検討していく。

農村環境改善センター玄関部の修繕は
来年度の当初予算で対応する

八柳　農村環境改善センターの玄関の修繕工事については、修繕方法を検討しており、損傷原因は精査中とのことだった。6月議会以降の修繕方法の検討結果と損傷原因の精査結果は。

教委事務局長　原因としては、経年劣化により床面タイル接着面が損傷し剥離したことと、冬季の積雪等複合的に影響したものと考える。

修繕方法は、アプローチ部分全体の既存タイルを撤去し、下地補修のうえ、樹脂塗装仕上げを予定。冬期間の施工を避けて来年度当初予算で早々の着工を目指す。

施行までの間は階段部分の注意喚起の表示を行うとともに、スロープの利用を勧奨するなど安全確保に努める。



修繕が望まれる農村環境改善センター正面玄関部

なぜここに？

インタビュー

移住・定住者さん いらっしゃい!!



三浦（みうら）　智晴（ともはる）さん

（小泉町内）



令和7年度の新規事業「若者子育てホーム循環事業」を活用し町内に定住された三浦さんにお話を伺いました。

Q ご出身はどちらですか。

A 夫婦ともに潟上市です。

Q 家族構成は何人ですか。

A 夫婦と子ども3人（長男8歳、次男5歳・長女4歳、取材時現在）です。

Q この町の印象はどうですか。

A 国花苑の桜など自然豊かで、人が温かくて子育てがしやすいと感じています。

Q この町への定住を決心された経緯は何ですか。

A 自然豊かなことに加え、子育ての環境と支援が充実しており、空き家活用の補助金（若者子育てホーム循環事業）を活用でき、安心して家づくりを進められたのも大きな決め手となりました。

Q 子どもたちの将来等をふまえ、この町に期待することはどんなことですか。

A 人口減少により、こどもセンターや学校の運営等もどうなるか心配です。他の自治体にはない子育て支援や住民サービスが充実しているので町外へのアピールをがんばってもらいたい。若い世代が「ここで暮らしてみたい」と思える取り組みで移住者、定住者の増加に繋げて欲しい。世代間の隔たりなく、みんなが支え合って安心に暮らせる地域になって欲しいと思っています。

以上のほか、地域住民（町内会等）との関わりや移住・定住して大変だったことや不便なことなどいろいろなお話を伺いましたが、紙面の関係上割愛させていただきました。

お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

（担当　伊藤　秀人）

議会のうごき

6月15日	議会だより（No.167）編集委員会（以降2回）	（役場　小会議室）
18日	井川町社会福祉協議会第1回評議員会	（役場　大会議室）
21日	井川町消防団小型ポンプ操法大会（JAあきた湖東営農経済センター駐車場）	
27日	第65回町民体育大会	（義務教育学校グラウンド）
7月8日	第2回湖東北都会総会懇親会	（五城目町：グリーンロイヤル丸富）
9日	第4回議会運営委員会	（役場　正副議長室）
12日	男鹿潟上南秋支部操法大会慰労会（第2分団）	（羽立分館）
13日	第2回井川町議会臨時会	（役場　議場）
14日～15日	議会だより編集委員会先進地視察研修	（山形県：三川町役場、遊佐町役場）
23日	第62回井川町老人クラブ大会	（農村環境改善センター）
29日	八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会7月定例会	（八郎潟町役場）
30日	秋田県町村議会議員研修会	（秋田市：秋田県市町村会館）
8月4日	井川町戦没者追悼式	（農村環境改善センター）
7日	秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会	（秋田市：秋田県市町村会館）
7日	町村長と町村議会議長との政策研究会	（秋田市：秋田県市町村会館）
15日	井川町二十歳の集い	（農村環境改善センター）
17日	全町盆踊り大会	（日本国花苑）
18日	第5回井川町議会全員協議会	（役場　大会議室）
20日～21日	岩手県、秋田県、山形県合同町村議会議長等中央研修会	（東京都：全国町村議員会館）
21日	八郎湖周辺清掃事務組合議会臨時会	（男鹿市：八郎湖周辺クリーンセンター）
22日	秋田県消防操法大会	（由利本荘市：秋田県消防学校）
28日	南秋田郡町村議会議長連絡協議会	（役場　会議室）
31日	第5回議会運営委員会	（役場　正副議長室）
9月3日	井川町敬老式	（農村環境改善センター）
7日	議会だより編集委員会	（役場　小会議室）
7日～16日	第3回井川町議会定例会	（役場）

編集後記

7月14日、15日山形県の三川町、遊佐町両町へ議会広報の視察にて議会広報常任委員会の委員との意見交換会をさせていただきました。

各町の担当者より、手に取ってもらえて、読んでいただけるような紙面づくりのための努力や工夫についての活発な意見、本町の議会広報紙についても厳しい指摘をいただきました。

今後は全国に数多ある町村議会の広報紙を参考にしつつ、今まで以上に手に取って読んでいただけるような「議会だより」の紙面づくりに励みたいと思います。

（伊藤　秀人　記）

発行　井川町議会
編集　議会だより編集委員会

〒〇一八―一五九六　秋田県南秋田郡井川町北川尻字海老沢樋ノ口78―1
TEL（〇一八）八七四―四四二五・FAX（〇一八）八七四―二六〇〇

印刷／㈱八郎潟印刷